

瑞宝重光章

教育基本法改正に尽力



結城章夫さん
(東根市、72歳)

村山市出身で、東大工学部卒業後に旧科学技術庁に入庁。中央省庁再編後は文部科学省初代官房長として国立大法人化に向け国会対応に追われた。2005年に事務次官に就き、「戦後教育の再出発」といえる教育基本法改正に携わった。

「生まれ故郷に貢献したい」と58歳で退官し、山形大学長

を約6年半務めた。有機ELの世界的研究拠点づくり、北海道・東北では初となる重粒子線がん治療施設整備、ペルシテの世界遺産「ナスカの地上絵」の現地研究所開設に尽力し、大学の強みをさらに磨いた。

現在、東北文教大など総合的学園を運営する富沢学園の理事長として手腕を発揮する。「学生と教員の距離が近い面倒見のいい学校を目指し、全力を尽くす」と語った。

【記事・写真提供：山形新聞 2020年11月3日 21面】